

【問い合わせ先】

警備救難部国際刑事課

海賊対策室専門官 川越

TEL 03-3581-1701 (直通)

平成19年6月1日午後2時
海上保安庁

東南アジアへの巡視船の派遣について

海上保安庁は、アジア各国との海賊及び海上テロ対策に関する相互協力及び連携の推進・強化策の一環として、次のとおり、巡視船をフィリピン共和国及びインドネシア共和国へ派遣するとともに公海上におけるしょう戒活動を実施します。

フィリピン共和国及びインドネシア共和国では、同国海上保安機関との海賊に関する意見交換のほか、海賊対策連携訓練などを行う予定としています。

さらに、インドネシア共和国においては、(財)海上保安協会が、同国海上保安機関の人材育成・人材交流等を含めた海賊対策の普及・啓発を目的として、平成19年度日本財団の助成事業として実施する「海賊対策普及・啓発事業」に協力することとしています。

1 派遣日程

(1) 派遣巡視船

第四管区海上保安本部名古屋海上保安部

巡視船みずほ（総トン数約5,300トン、ヘリコプター2機搭載）

(2) 日程

平成19年6月 7日（木）名古屋出港

6月13日（水）マニラ入港

6月15日（金）海賊対策連携訓練及び流出油防除連携訓練

6月16日（土）マニラ出港

6月21日（木）ジャカルタ入港

6月25日（月）海賊対策普及・啓発事業（～27日）

6月27日（水）海賊対策連携訓練及び流出油防除連携訓練

6月29日（金）ジャカルタ出港

(3) 寄港国

フィリピン共和国（マニラ港）

インドネシア共和国（ジャカルタ港）

2 海賊対策連携訓練及び流出油防除訓練

(1) 実施日及び訓練海域

イ フィリピン沿岸警備隊との訓練

平成19年6月15日(金)

マニラ港沖合

ロ インドネシア海上保安機関との訓練

平成19年6月27日(水)

ジャカルタ港沖合

(2) 目的

海賊対応能力の相互向上、同訓練を通じた各国海上保安機関との相互理解及び連携・協力関係を強固なものとし、東南アジア海域における海賊対策を推進することを目的としています。

3 海賊対策普及・啓発事業

(1) 日程

平成19年6月25日(月)から6月27日(水)

(2) 参加機関

インドネシア海運総局、インドネシア海上警察、インドネシア海軍及び海上保安調整会議

(3) 目的

マラッカ・シンガポール海峡沿岸国であるインドネシア海上保安機関等との海賊事案に係る情報交換のほか、海上保安庁の能力を活用した人材育成・人材交流等を含めた海賊対策の普及・啓発を図り、マラッカ・シンガポール海峡の安全確保体制の構築を促進することを目的とする。

4 みずほ出港式

日時：6月7日(木)午前10時00分から午前10時15分

場所：名古屋港ガーデン埠頭2号岸壁

* 出港式の取材を希望される社は、6月6日(水)午後5時までに、第四管区海上保安本部総務部広報・地域連携室(Tel.052-661-1611)まで連絡をお願いします。